

5 施設サービスの状況

(1) 要介護状態区別にみた単位数・受給者1人当たり費用額

各施設サービスの1年間の単位数は、介護福祉施設サービスが最も高く、次いで介護保健施設サービス、介護療養施設サービスとなっている。なお、要介護状態区別にみると、介護福祉施設サービスでは「要介護4」「要介護5」の割合が多く、介護保健施設サービスでは「要介護3」「要介護4」の割合が多く、介護療養施設サービスでは「要介護5」の割合が多くなっている。(表12)

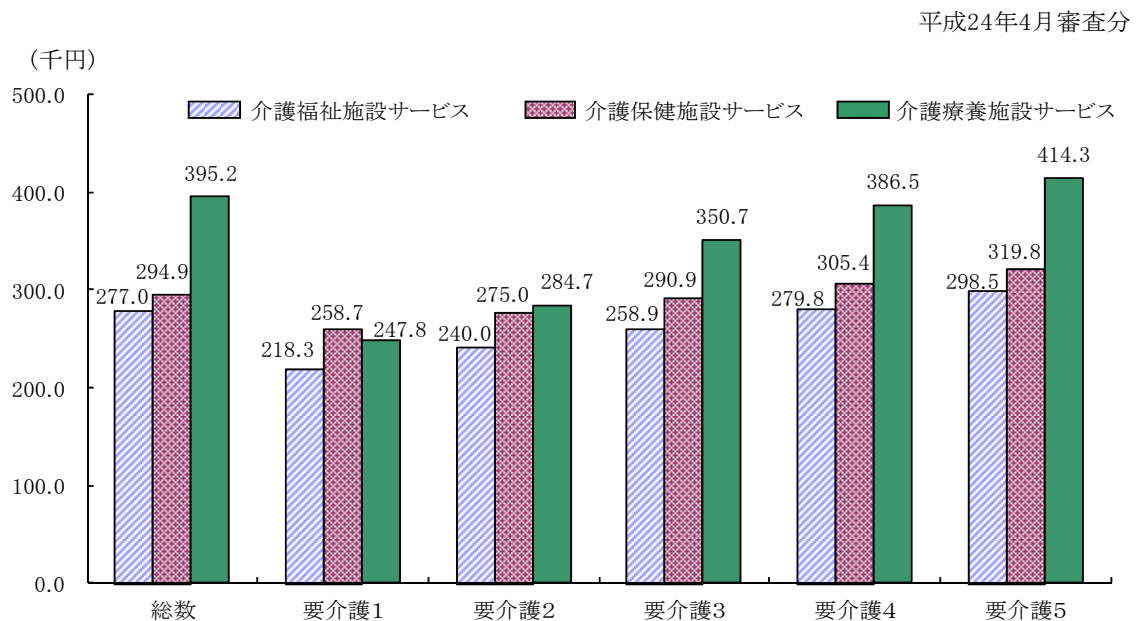
また、施設サービス受給者1人当たり費用額をみると、いずれの施設サービスも要介護状態区分が高くなるほど費用額も高くなっており、特に介護療養施設サービスではその差が大きい(図9)。

表12 施設サービス別にみた要介護状態区別単位数

平成23年5月審査分～平成24年4月審査分

	介護福祉施設サービス		介護保健施設サービス		介護療養施設サービス	
	単位数 (千単位)	構成割合 (%)	単位数 (千単位)	構成割合 (%)	単位数 (千単位)	構成割合 (%)
総数	146 370 306	100.0	115 546 407	100.0	35 654 766	100.0
要介護1	3 559 554	2.4	9 675 391	8.4	256 640	0.7
要介護2	10 967 135	7.5	19 281 243	16.7	726 548	2.0
要介護3	27 693 108	18.9	27 756 003	24.0	2 550 672	7.2
要介護4	47 490 539	32.4	32 275 803	27.9	10 214 778	28.6
要介護5	56 658 839	38.7	26 557 753	23.0	21 906 117	61.4

図9 要介護状態区別にみた施設サービス別受給者1人当たり費用額



注：受給者1人当たり費用額 = 費用額 / 受給者数

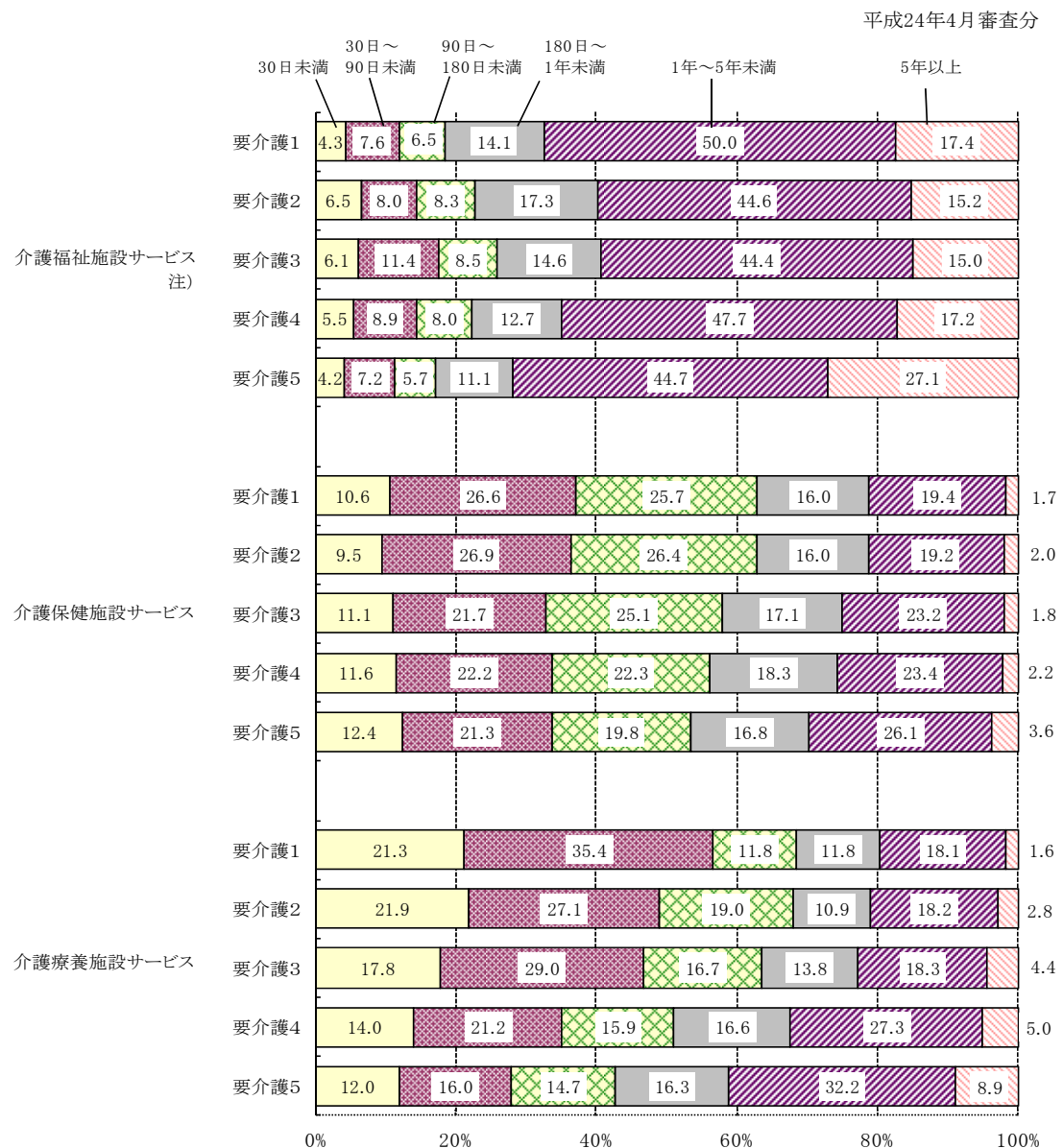
(2) 退所(院)者の入所(院)期間別割合

平成24年3月中に退所(院)した施設サービス受給者について、要介護状態区別に入所(院)期間の割合をみると、介護福祉施設サービスでは、いずれの要介護状態区分でも1年～5年未満の割合が最も多い。

介護保健施設サービスでは、要介護状態区別にあまり差はみられない。

介護療養施設サービスでは、「要介護1」「要介護2」では90日未満の割合が多く、「要介護4」「要介護5」では、1年～5年未満の割合が多い。(図10)

図10 施設サービス・要介護状態区別にみた退所(院)者の入所(院)期間別構成割合



注：介護福祉施設サービスには、地域密着型介護老人福祉施設サービスを含む。